

定時制の生徒ら
未来の収支を体験

大垣商高で講話会

大垣市の大垣商業高
校定時制の生徒を対象
にした進路講話会が同
校で開かれ、三、四年
生三十七人が参加し

た。

岐阜県若者サポート

ステーションの総括コ

ーディネーター・平田

幸恵さんら四人が講師

を担当。平田さんが

「未来予想図」君の将

来が輝くために」と

題して講演した。

将来の経済的収支を疑
似体験する生徒ら。大
垣市の大垣商業高校で



平田さんは、生徒が
どんな仕事をしている
のか問いかけた上で、
正社員とフリーターな
どでは年収や、生涯賃
金、社会保険料でどれ
だけの差が出るかにつ
いて説明した。

この後、六十七人の
グループに分かれ、地
方公務員や、中小企業
社員、フリーターなど
の経済的収支を疑似体
験するゲームがあっ
た。アルバイトをして

いるという生徒は「白
ない」と気づいた」な
ど分の将来が不安にな
と話していた。
り、このままではいけ
(中山道雄)